

指導の手だて

part 2

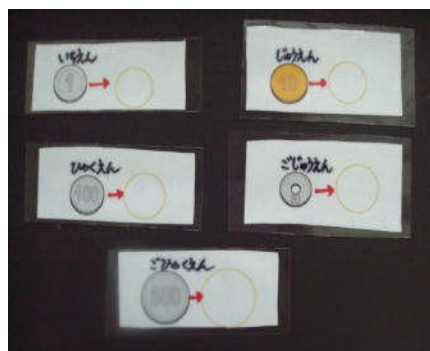
国語（ことば）

算数（かず）

生活面の指導

作業的な学習

書籍紹介



奈良県立大淀養護学校

国語（ことば）

国語(ことば)のねらいは、学習指導要領によると『日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それら表現する能力と態度を育てる』と、明記されている。内容を国語カテゴリに分けると、「聞く・話す」、「読む」、「書く」の3つの観点から構成される。今回はコミュニケーションに深く関係している『聞く、話す』に着目をする。

1 集団での活動 (エプロンシアター: 3びきのこぶた)

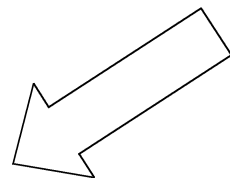
～「見る・聞く」から「話す・やりとり」するへ～



子どもたちが興味を持ちやすいように、絵本をエプロンシアターにする。



お話後劇遊びに展開できるように、せりふは動作つきで、短くてわかりやすいものにする。



自分で役を選ぶことで、やる気や意欲の高まりを大切にする。また、したい役を譲り合う、友だちとのやりとりも大切にする。



役になりきって演じることで、友だちとのやりとり大を切にする。
人のせりふを聞いて、自分のせりふを言う、人とのやりとりを丁寧に伝える。

II 個別課題

1. 簡単な指示に従って、ものを見つけ出す



自分の身近にあるものを、指示を聞いて渡す。
「くつを、とってください。」「ぼうしを、とってください。」



2つ以上の物を、聞いて渡す。
「キャベツと目玉焼きを、ください。」

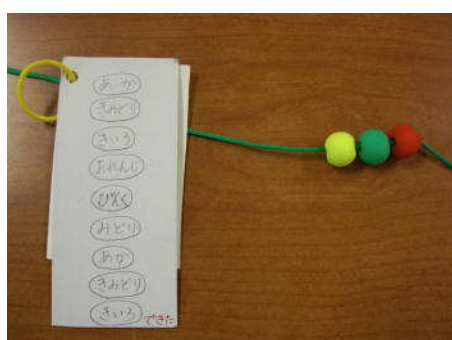
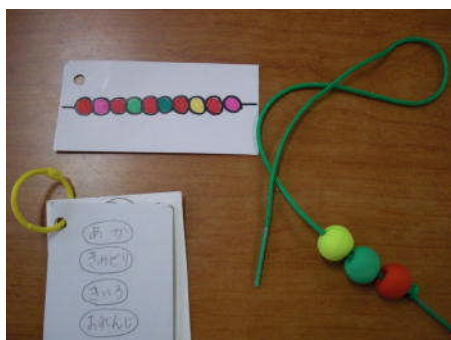
2. 指示に従って作業をする



質問されたことを聞き取り、答えたり、自分でプリントに記入したりする。



ことばの指示を聞いて作業をする。
「ピンクの紙に、青クリップを3つはさんで袋に入れてください。」



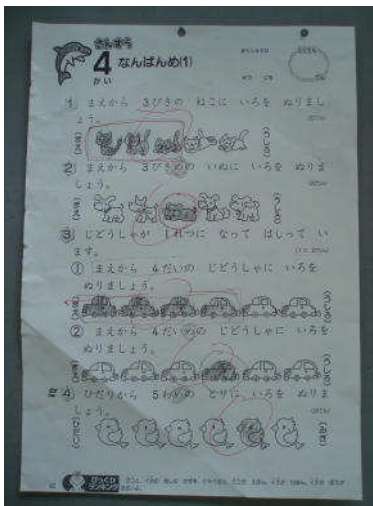
ことばではなく、見本の図や文字の指示を読み取って、作業をする。

3. 指示に従って答える

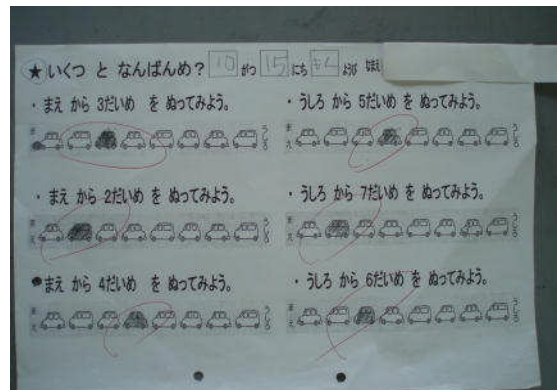


上、下、左、右といった平面上での位置関係に対する、質問に答える。
「上から3番目は何？」

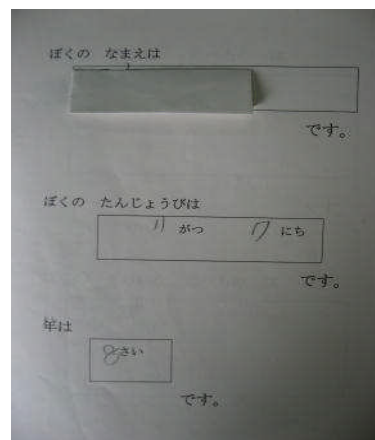
指示を読んで、順に人形を並べる。
「1番前はお兄さん、2番目はお父さん。」



プリントでの学習

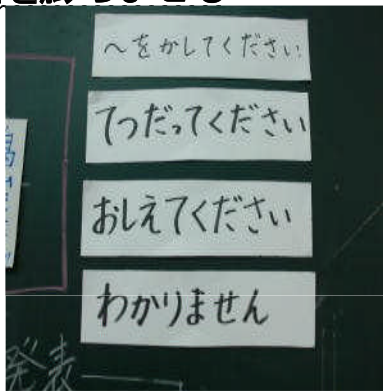


教師が表情を演じて、その表情に対応するカードを教師に渡す。

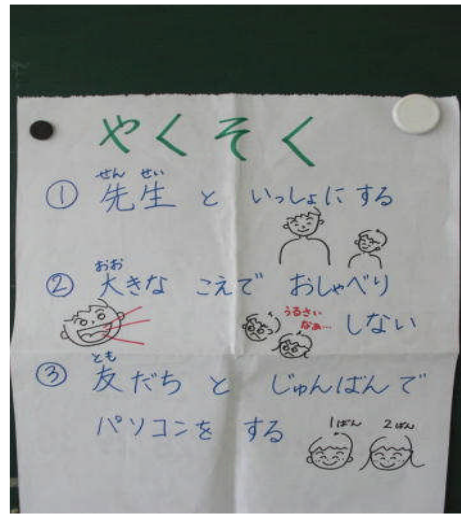


穴埋めをしながら、質問形式で自己紹介を完成する。

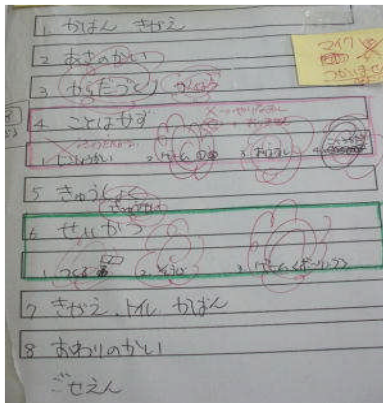
4. 会話を膨らませる



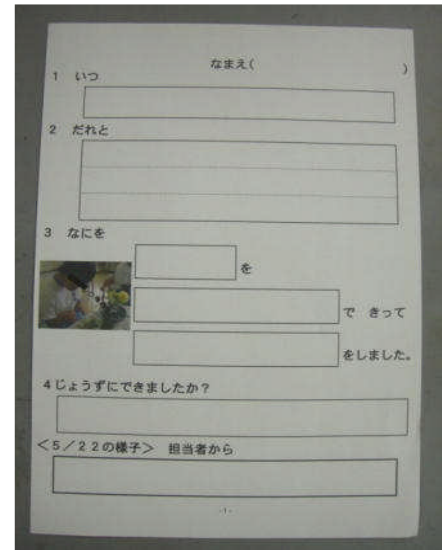
困った時や、お願いする時に使う言葉を知る。



聞けだけでは忘れてしまっても、字と絵を目で見えて確認することで、思い出せる。



一日の予定カードを通して、できたことや、もう少しがんばれることなどを、一緒に確認することで、いろいろなやりとりをする。



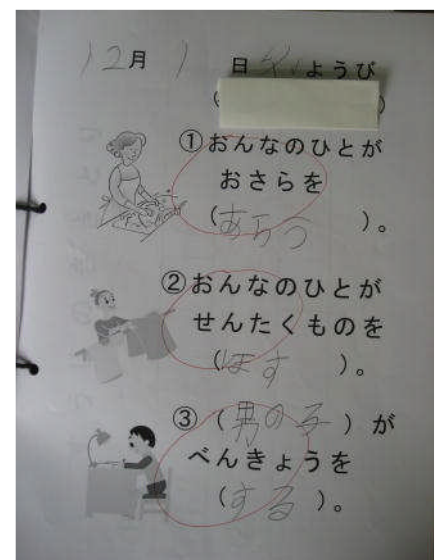
自分が経験したことを、写真を見ながら、その場面を思い出し、文を完成させる。

自分の気持ちを伝える。
今は、どんな気持ち？」



動作語の質問。

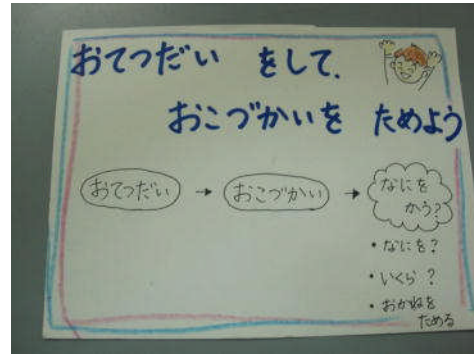
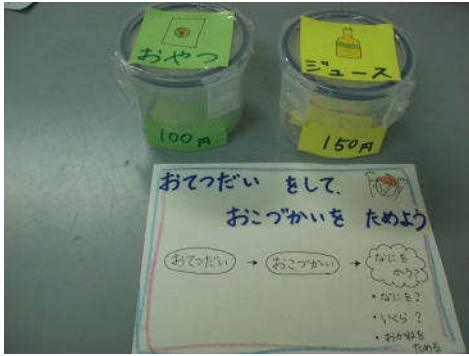
動作語を獲得することによって、より会話を豊かにする。



算数(かず)

学習指導要領では『具体的な操作などの活動を通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる』とある。内容カテゴリーには「数量の基礎」「数と計算」「量と測定」「図形・数量関係」「実務」の4つの観点がある。それらの中から、より生活に密着している内容「お金」に着目し、「お金の学習」に関する教材を取り上げた。

1. お金というものを理解する

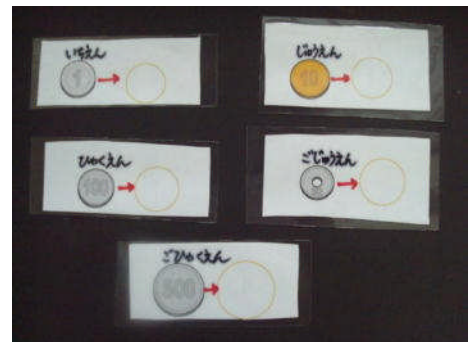


役割を果たしたり、約束を守ったりした時に、がんばり表にシールを貼る。そして、そのシールがいくつかたまったらご褒美としてお金をもらえるなどの約束を利用をすることで、お金の価値を行動を通して経験的に身につけるようにする。

2. お金の種類を知る



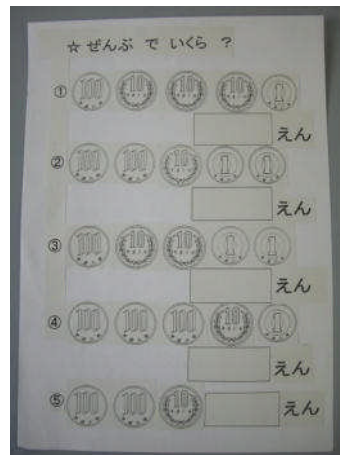
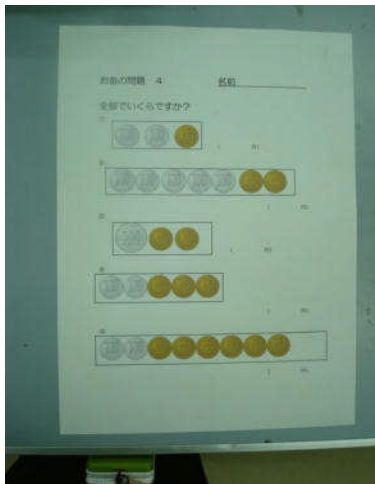
お金にはいくつか種類があることを知るために、お金の種類を弁別する。



3. 硬貨を数える



描かれたお金の絵の上に、実物の硬貨を置き、
いくらか答える。



プリントでの学習

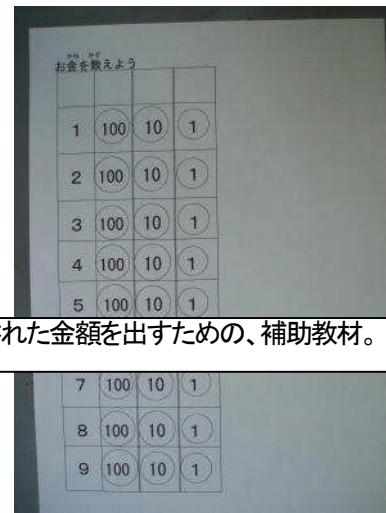
4. 提示された金額を出す



位どりが難しい子どもに、どの硬貨が何枚いるのか一目でわかるようにし、数字と同じ枚数の硬貨を出させる。



「お金を払う」ということを、よりイメージしやすいように、品物の写真とその金額を視覚で確認させ、同種の硬貨をのせる。はじめは、硬貨の絵を描いた上に、同じだけの硬貨を置かせ、その後、硬貨の絵を外し、ヒントを減らしていく。

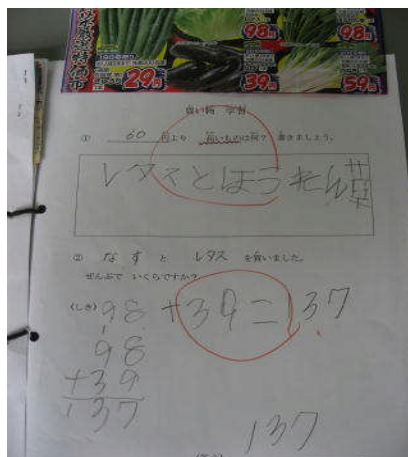


提示された金額を出すための、補助教材。



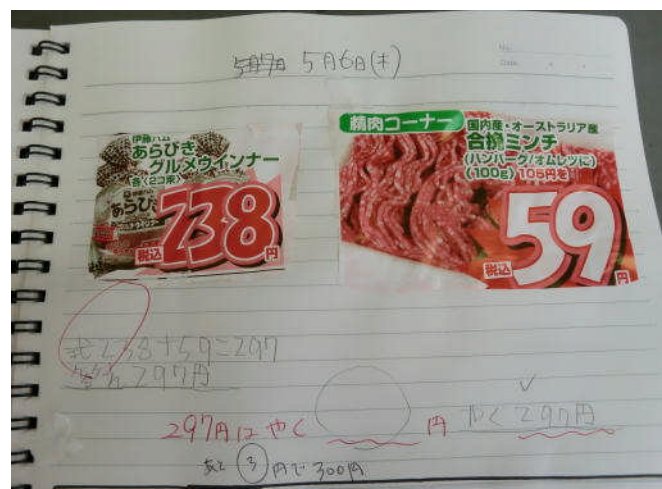
100円と10円で「〇円」などのカードを見て、提示された金額を構成する。

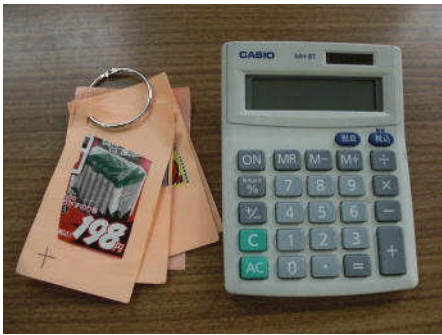
5. 模擬お買い物



よりスムーズに買い物ができるように、広告を利用し買い物の事前学習をする。
 「何を買うのか、いくらいるのか？」
 「〇円より高い？安い？」など数の大小を考える。
 お金の計算をすることで、実生活に生きる四則計算を身につける。

必要な物(例えば、その日の夕食の材料)の広告を切り貼りし、いくらかかるか、合計を考える。
 また合計金額は、約いくらになるのか、いくら出せばよいのか、考える。





商品の合計はいくらになるのか、電卓を使って計算する。



おつりの理解。
電卓で計算し、おつりを小袋に入れる。

生活面の指導

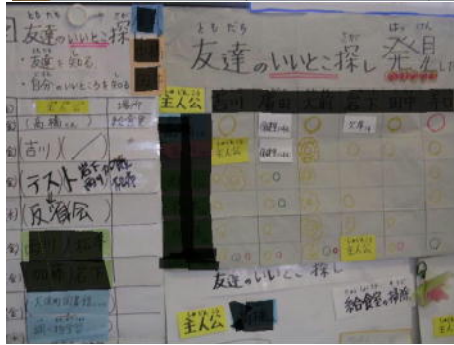
1 こころ

1. 自分を知る 友達を知る

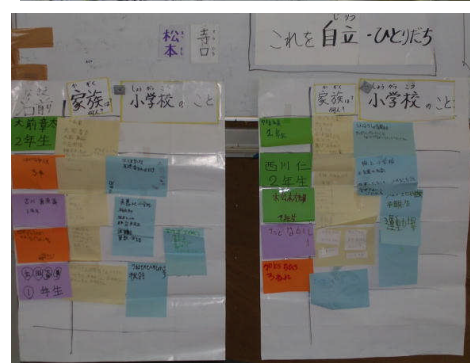
本校の子どもたちにとっても、「私は人の役に立てるんだ」「仲間がいるからがんばれる」という気持ちは、生きる力の源になっていきます。また、人に認められる(認めあえる)ことで自信にもつながります。

下記の教材は、社会への帰属意識を育む学習のひとつです。

「誰と暮らしていますか？」

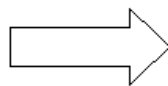


「大きくなるってどういうこと？」



友達の良いところを探そう！

- ★自己理解
- ★他者理解



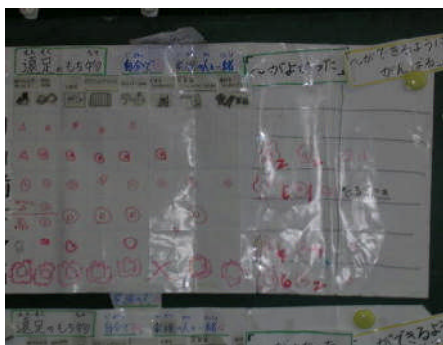
友達へ一言！

「あなたの良いところは…」

メッセージを交換し合う



2. 自分でやってみよう&子どもの学びの機会へ



★自分でできることを増やすために…

★保護者への意識啓発のために…

やってあげることで子どもの成長の機会を逃してはいませんか？

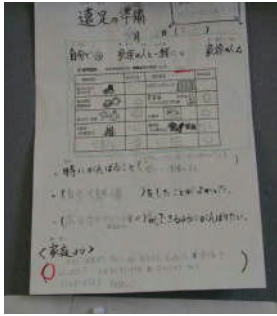
「持ち物は何？」

「誰が準備する？」

「確認してみよう」

遠足の時

宿泊学習の時



家でやってみよう!

- ・家の人にしてもらいました
- ・家の人と一緒にしました
- ・一人でしました

△

○

◎

“お母さんがしてあげるからね”
“あなたにはまだ無理よ”

「本当は自分でやりたいなあ…」

「できるようになりたいなあ…」



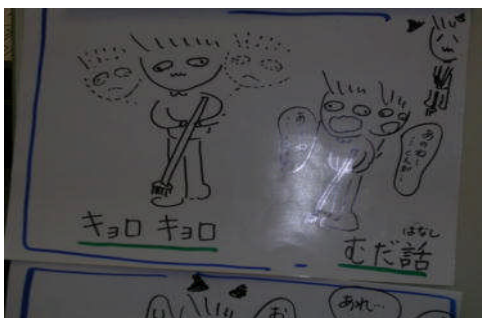
勇気を出して!

- 「自分でやってみるよ」
- 「やってみたんだ」
- 「できるようになりたいんだ」
- 「やらせてね」

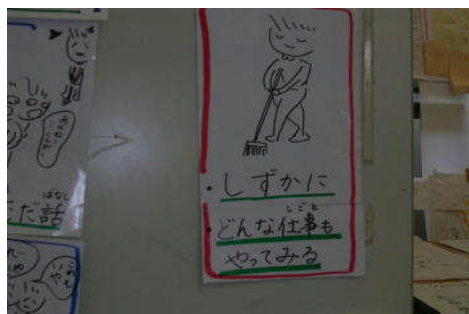


3. 大人らしく働くとは?

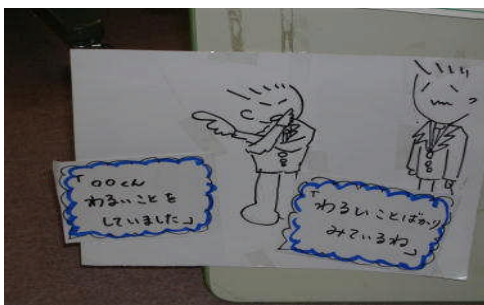
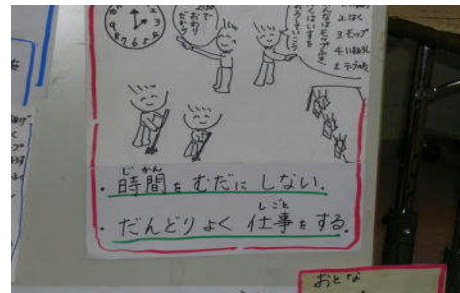
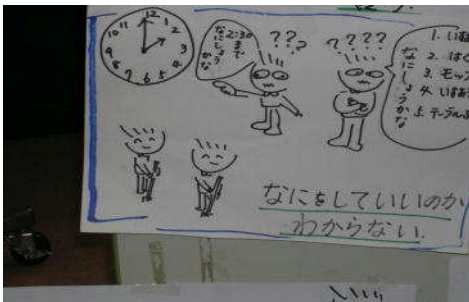
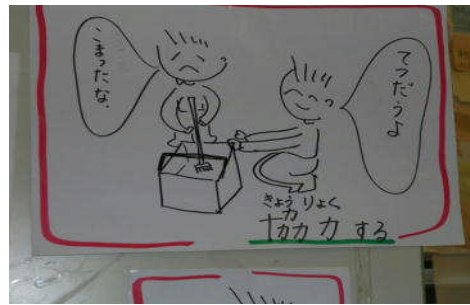
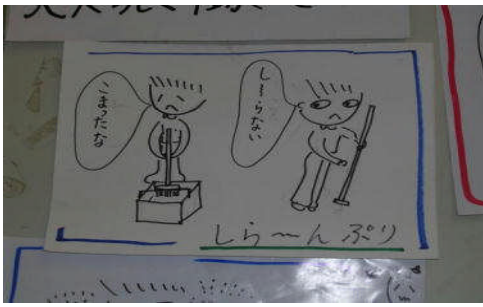
職場体験学習など、校外での活動の事前学習です。「どのような行動が良いか?悪いか?」を比較することで、自分はどうしたらよいかを考える機会につなげます。



悪い例



良い例



イラストを用いて状況を分かりやすく！

比較することで、どんな行動が良いかを選択しやすく！

色の違いをつけて工夫！

4. 強い身体を！ 太い心を！

★身体…食べ物役割を知り、自分の食生活を見直してみよう。

『栄養素の学習』



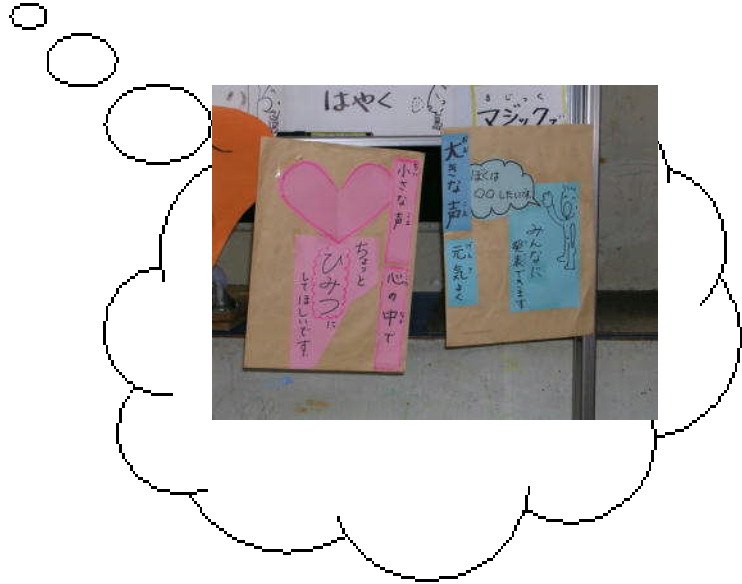
★心…いろいろな気持ちがあります。



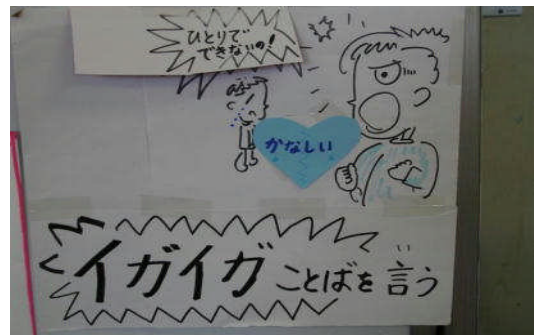
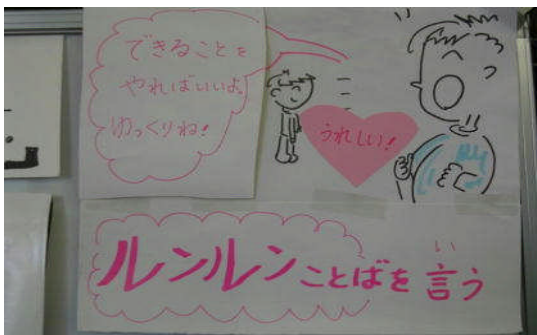
言わなければ伝わらない！
勇気を持って言葉に出そう！

でも、内緒にしてほしいことや
ぐっと我慢しておきたいことも…

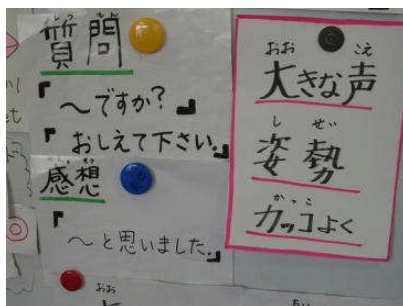
言うかどうかは自分で決めよう。



言い方も大切！ 相手の気持ちになって…どんな言葉が良いのかな？

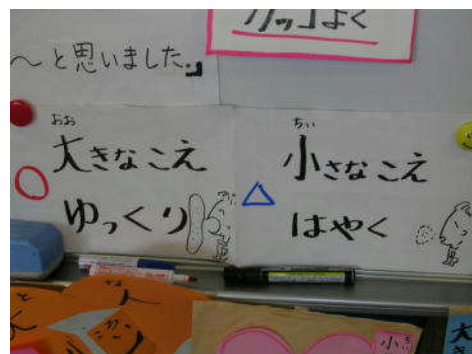


5. ルール・マナーは普段から～

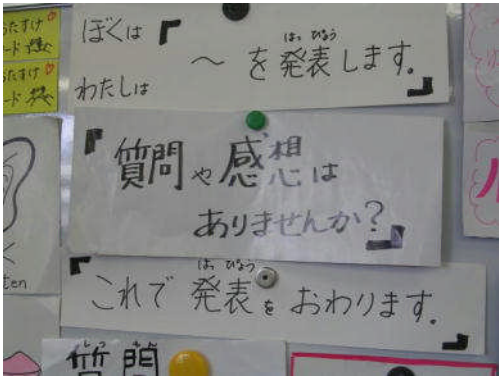


気をつけるポイントを明確に。

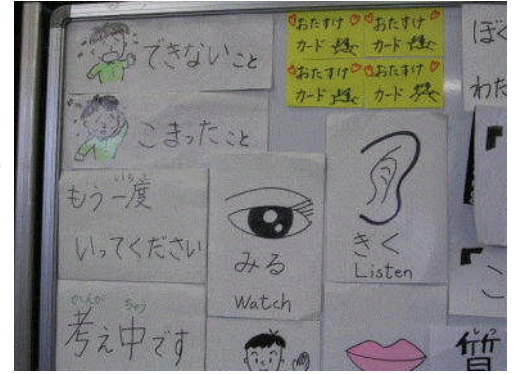
毎日の繰り返しで、学びを確実な力にしていきます。社会に出るときだけでなく、普段から意識していくことで、自分自身の力にしておきたいですね。



どちらがいいか自分で考える

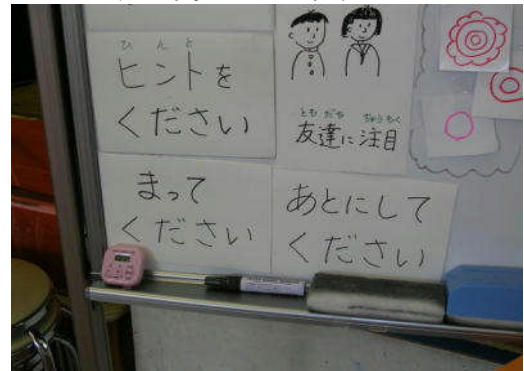


良い言い方をモデリングする



発言のルールや、聞かときのマナーも。

今は“見る”ことに集中して！
今は“聞く”ことに集中して！



社会に出たときに困らないために～
適切な言い方や行動を知っておくと良いですね。
適切なコミュニケーションや社会性を育てるために…
普段から授業の工夫を！

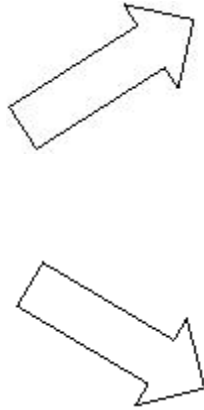
困ったとき、黙ってでは伝わらない！
困ったときの伝え方をモデリングする。

6. 身だしなみの学習

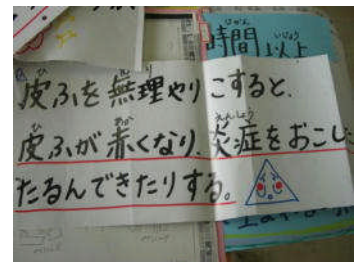
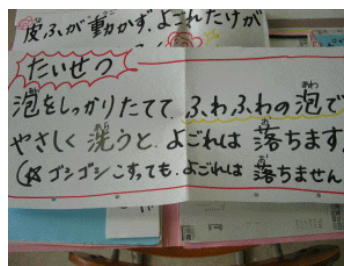
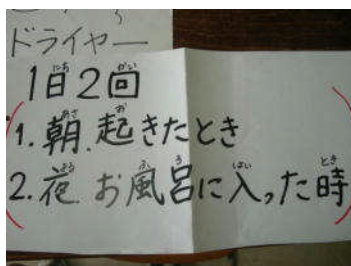
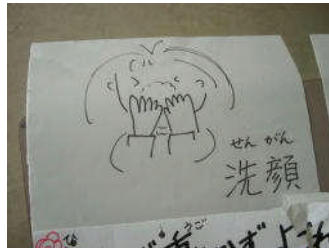
“爪を切りましょう”と言われるけれど、どうして？

その理由を知ったり行動の結果を考えたりすることで、自分で考えて行う力につながります。

どうなるか考えてみよう



方法の確認

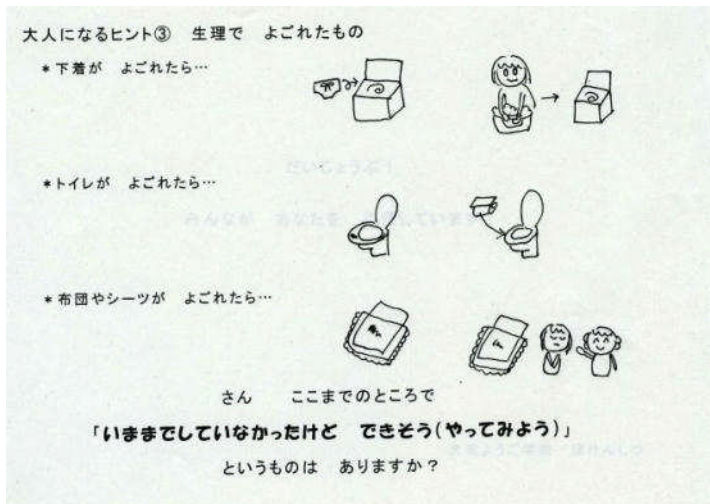


II からだ

1. 月経に関する指導教材

・月経に関する望ましい対処やマナーを身につけることを目的としています。

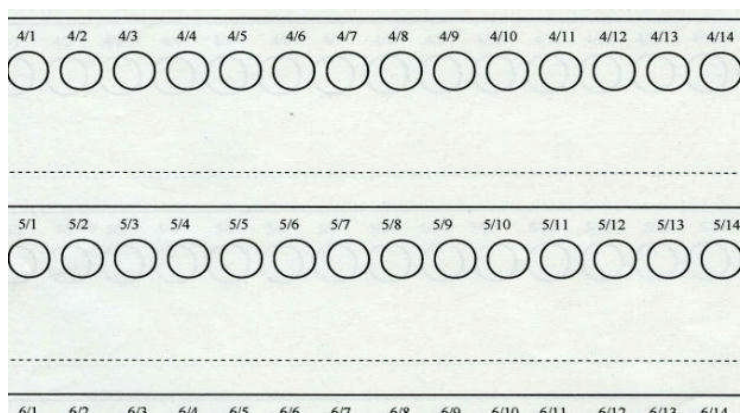
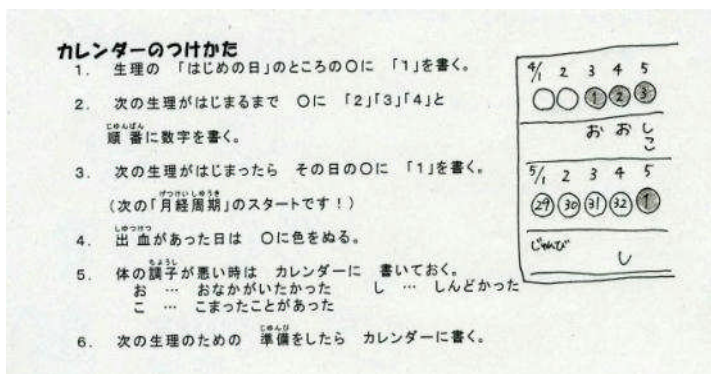
- * 自分も周りの人も気持ちよく過ごすにはどうしたらいいか。
- * 困ったとき、失敗したときはどうしたらいいのか。
- * 体調管理も必要だね。



「こんなことやってる？」

「やった方が大人だと思うよ」

・月経周期に気づくために、カレンダーをつけてみよう。



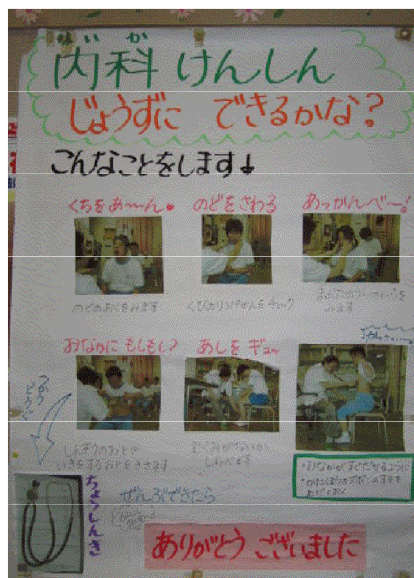
「前の時は30日だったのに、今度は38日もかかったんだね」

「もうすぐ生理が来ると思う。準備をしておこう。」

2. 健康診断や医療機関受診の際に使うグッズ

(1) 健康診断の時に…

★検診内容を保健室前に掲示する。



健康診断の予定も、写真や具体物を掲示板に貼って知らせるとわかりやすい。

担当医師も写真カードで親近感を。

★事前に練習できるように、模造品や実際の検査器具を貸し出す。



心電図練習用

〔 布団用洗濯ばさみと両面テープをつけた一円玉 〕

眼科検診練習用

〔 凸レンズとペンライト 検診風景の写真 〕

歯科検診練習用

〔 聴診器 歯鏡 〕

★検査での工夫

○視力検査



- ・ランドルト環での検査が困難な場合
→4種の図版で検査。
(検査値は視力参考値として処理)
- ・片眼ずつの検査が困難な場合
→両眼で検査。

少しずつ検査場面や回答の仕方に慣れながら、ランドルト環での検査に移行していくことを目標にしています。

○聴力検査



通常のオーディオメータでの検査で、能力的には左右の判別ができそうなのに回答が曖昧な場合には、乳児用オーディオメータで練習してから検査を行うことがあります。左右どちらかのクマのぬいぐるみから音が鳴ります。まずは音の鳴る方を回答することを練習します。



できるようになったら通常のオーディオメータの検査に切り替えて、回答方法だけ「どっちのクマが鳴ってる？」とクマを指さす方法にします。左右が正しく回答できるようになってきたら、クマを外して回答させます。

(2) 医療機関に受診して検査や治療を行う必要が生じたときに…

★保健室で検査・治療場面を練習し、不安を減らし自信をもって病院へ行こう！

①手順表

- ・保護者と担任の協力で、受診する医療機関で検査や治療の方法を確認してもらい、工程表をつくる。
- ・「受診の流れを知る」「苦手な部分を慣れる」をメインのねらいにおく。
- ・「今日はここまでやろう」「よくできたね」「あともうちょっとだったのに…もう一回」

さいわつ れんしゅう
採血の練習 月 日 曜日

① 採血室の前で待つ
② 名前札を 埋められたら 部屋に入る 約束を 聞く
③ ぼんしょう

1	いすに すわる シールを はる	
2	そでを まくる (ひだり)	
3	ぶんで うでを くくる	
4	方法その1: だいにのせる 方法その2: からだにきゅつとつける	
5	わたで しょうどくする	
6	はりを あてる 「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8」かぞえる	
7	わたを あてて はりを はずす	
8	テープを はる	
9	右手で おさえる (7分間)	

④ 終わりに、「ありがとうささいました」といって 教室に 行く！
⑤ 採血室に帰って わたをどき

← ↓ 採血の練習シート

検査の約束

手を うごかしません

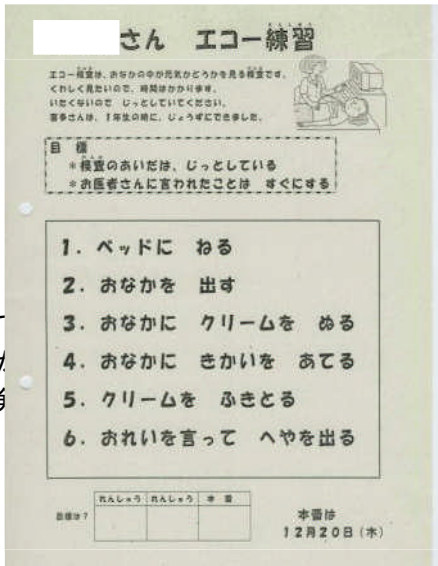
練習 準備 カレンダー

練習	① 月 日 ()	○△×	がんばったこと	がんばらなかつたこと
	② 月 日 ()			
	③ 月 日 ()			
本番	大塚病院 月 日 ()			

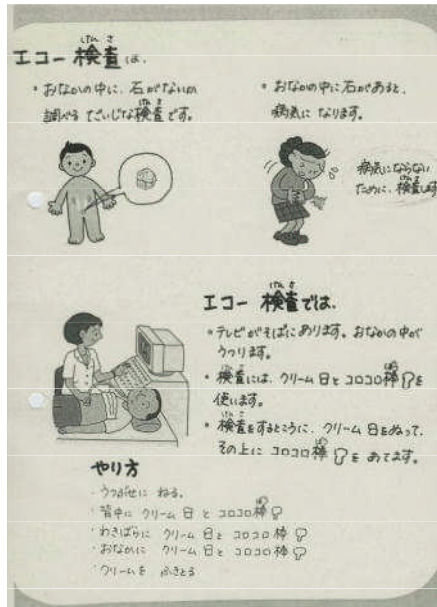
本番〇だったら・・・
家で 月 日 ()
かっぱずしへ行こう！

本番×やムだったら・・・ かっぱずしはあきらめ
(おとうさん、おひいさん、おねえちゃんごっけり・・・)

がんばれ！ かっぴちゃん☆



どうし
加えなが
得して核



②練習に使用する道具

身の回りにあるもので、感触やサイズが実際のものに似ているものを使用。

脳波検査練習用

髪のを留めるクリップ、吸盤、コードなどを組み合わせてつくりました。



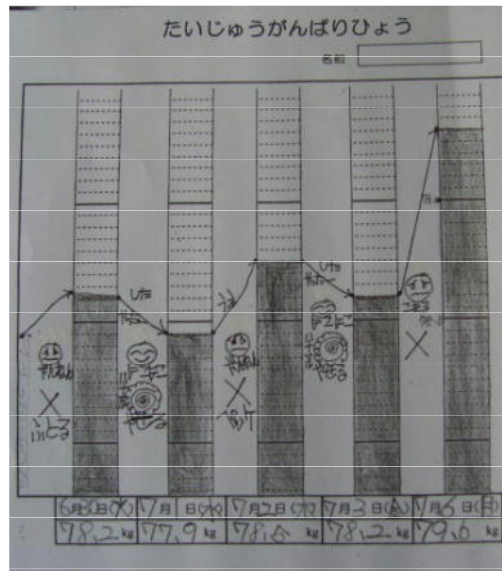
3. 肥満指導

本人や保護者への啓発のために、毎日体重を測定する。

○おやつと夕食を家庭で記入するパターン

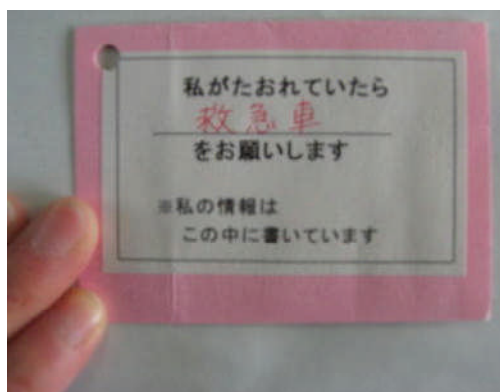
○子ども本人が体重の増減に気づいて、食事や運動に注意を向けさせるパターン

月	日	曜日	おやつ分量	夕食(夜食)分量
7月	17日	月曜日	ココア2杯 1箱	ごはん1杯、豚汁1杯、 焼き魚
8月	8日	火曜日	アメリ 牛乳1杯	ごはん1杯、豚汁1杯、 豚汁、おひたし
9月	9日	水曜日	おひたし	カレー(おひたし) 1杯
10月	10日	木曜日	アメリ 1杯	ごはん1杯、おひたし1杯、 おひたし、アメリ2杯(おひたし)
日	金曜日			
日	土曜日			
日	日曜日			

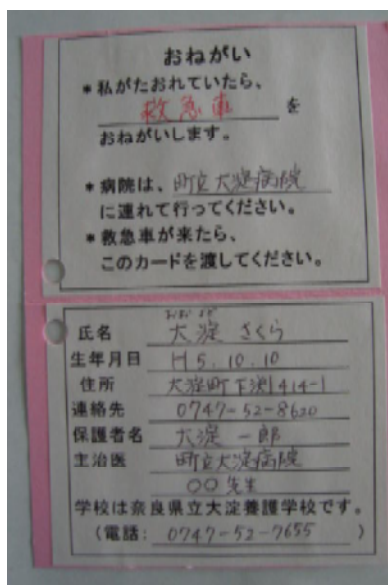


4. SOSカード

・既往症のある者が登下校中に体調不良等で緊急事態になった場合、すみやかに医療機関へ受診できるように、周囲の人に医療機関等を知らせるためのカード。



子ども自身が医療機関や主治医を保護者から聞き取りして記入することもあります。



作業的な学習

1 授業例

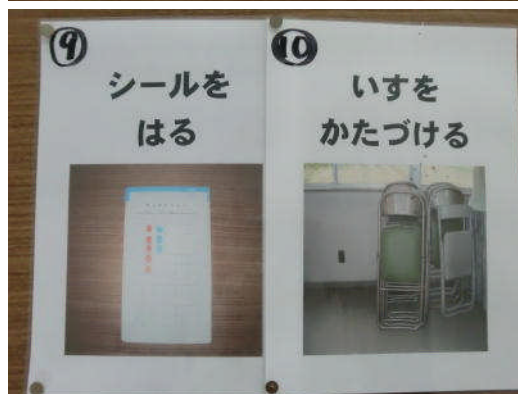
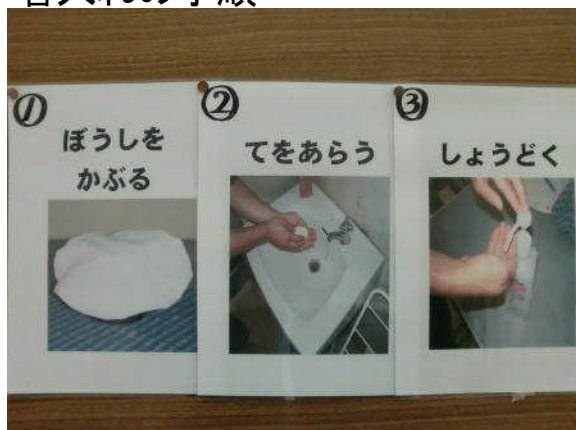
高等部では、社会への移行に向けて、実際の職場での作業を意識して取り組みを進めています。作業のさせ方を教えるための指導例を以下にあげてみます。

ほしいれ

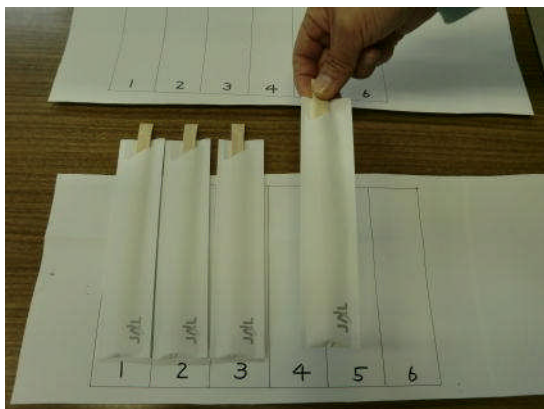
《 例1 箸入れ 》

箸入れの教室に入ったらどうするのか、順番に写真で紹介しています

箸入れの手順



数のわかりにくい時、マッチングができるように枠をかいた台紙を使って取り組みます



記録シート

() 月 () 日 () 曜日 ようび
作業を始める前に
作業を始

ハンカチかタオルを持っているか	
爪は伸びていない	
からだの調子はどうか	良い ・ 悪い
今日の作業目標数	() セット

今日の反省

手洗い・消毒	
準備・片付けは自主的にできた	
静かに作業ができた	
向きを間違えず、きれいにセットづくりができた	
セロファンのシール貼りができた	
「できました」の報告をする	

シールを貼りましょう は

10 セット	20 セット	30 セット	40 セット	50 セット

60 セット	70 セット	80 セット	90 セット	100 セット

きょう ぜんぶ
 今日全部で () セット

毎回、記録シートで自己評価しています

評価のポイント

(記録シートより確認事項)

・作業を始める前に

- ①ハンカチかタオルを持っているか
- ②爪はのびていないか
- ③からだの調子はどうか
- ④今日の作業目標数は何セットか

・今日の反省

- ①手洗い・消毒はできたか
- ②準備・片づけは自主的にできたか
- ③静かに作業ができたか
- ④向きをまちがえず、きれいにセット作りができたか
- ⑤セロファンのシール貼りができたか
- ⑥「できました」の報告ができたか

《 例2 メンテナンス 》

そうじのしかたをわかりやすく 記入したものです。

トイレ清掃

準備物

①バケツ ②雑巾2枚 ③柄付きブラシ ④スポンジ
 ⑤洗剤 ⑥モップ ⑦ゴム手袋

その他、ほうき、ちりとり、ビニール袋など

手順

ゴミを集める (ほうきで掃き、ちりとりで集める)

1、**手洗い場**

①かがみをふく(雑巾をきつく絞る)
 ②洗面器をあらう (スポンジ)
 ③洗面器をふく

2、**便器**

①手袋をつける
 ②水を流す
 ③洗剤をかける (少し)
 ④ブラシでこする (ていねいに)
 ⑤水を流す
 ⑥雑巾で拭く (外側・内側)

3、**壁やドアをふく**
 雑巾が汚れたら洗い、きつく絞る

4、**床をモップで拭く (奥から拭く)**

5、**点検して報告する**

月	日	曜日	天候
今日の仕事			
がんばること			
使った用具			
感想など			
評価 (先生が記入します)			

月	日	曜日	天候
今日の仕事			
がんばること			
使った用具			
感想など			
評価 (先生が記入します)			

トイレ清掃

準備物

①バケツ ②雑巾2枚 ③柄付きブラシ ④スポンジ ⑤洗剤
 ⑥モップ ⑦ゴム手袋

1、**手洗い場**

①かがみをふく (雑巾をきつく絞る) ②洗面器をあらう ③洗面器をふく

2、**便器** ①手袋をつける

②水を流す ③洗剤をかける (少し) ④ブラシでこする (ていねいに)
 ⑤水を流す ⑥雑巾で拭く (外側・内側)

3、**壁やドアをふく** 4、**床をモップで拭く**

雑巾が汚れたら洗い、きつく絞る (奥から拭く)

II 現場実習ノート

本校では、1年生から現場実習に取り組んでいます。

これから社会へ出ていくことを意識させるために、実習に行く前やその後の指導を大切にしています。その取り組みの一つとして、現場実習ノートを使って指導しています。そのノートを少し紹介します。

1 <small>げんばじつしゅう</small> 現場実習に行くまえに
<small>じっしゅうきかん</small> 実習期間 月 日 () ~ 月 日 ()
<small>じっしゅうせん なまえ</small> 実習先の名前
<small>じっしゅうせん じゅうしょ</small> 実習先の住所
<small>じっしゅうせん だんわばんごう</small> 実習先の電話番号
<small>じぶん いえ だんわばんごう</small> 自分の家の電話番号
<small>げんばじつしゅう げんば</small> 現場実習で頑張ること

こんなことが大事です(生徒の実態に応じて指導しています)

① ・自分の名前、住所、家の電話番号は言えるか 書けるか

・実習先の名前が言えるか 書けるか

・実習の期間はわかるか

・どんなことをがんばるか

2 実習中の生活

① 出勤の準備

- 朝食を食べる

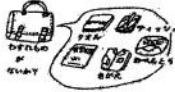


- トイレに行く



- 持ち物の確認

(忘れ物はありませんか?)



- みだしなみを整えましょう

- 服装はきちんとしていますか?
- 髪は洗ってありますか?
- 髪のはきはきれいとがしていますか?
- 爪は切ってありますか?



② こんなときはどうしますか?



電話をしよう

実習先の電話番号
学校の電話番号

3 実習中の日課 (一日のながれ)

実習先の勤務時間にあわせて、自分の日課を考えてみましょう。

起床 (時 分)

洗顔・歯みがき

朝食 (時 分)

家を出る (時 分)



実習先につく (時 分)

仕事が始まる (時 分)



仕事が終わる (時 分)

実習先を出る (時 分)



家につく (時 分)

夕食 (時 分)

就寝 (時 分)



2 実習中の生活で大切なことは何かを伝えていきます。

- 朝食は食べたか
- トイレは済ませたか
- 忘れ物はないか
- 身だしなみはどうか






また実習に遅れそうなどき、休まないといけない時にどうしたらよいか








3 右のページでは、一日の見通しが持てるようにイラストで分かりやすく記入していただきます。

時刻や時間が記入できるようになっています。

記入用紙1

記入用紙2

月	日	曜日	天気
今日の反省 (○か×を書きましょう)			
 「おはよう」や「さようなら」のあいさつはできましたか？	 「きまり」や「じかん」をまもれましたか？		
 「できた」ことをつたえることができましたか？	 「あとかたづけ」や「そうじ」はできましたか？		
 「しごと」をがんばれましたか？			
今日はどんな「仕事」をしましたか？			
実習先での「様子」や「思ったことを書きましょう」			
帰宅後の様子・連絡 (保護者記入欄)			
現場での様子・連絡等 (指導者記入欄) 指導者名 _____			

月	日	曜日	天気		
実習先に着いた時刻:	時	分	実習先を出た時刻:	時	分
仕事内容 (今日は何をしましたか?)					
今日の反省 (○か×を書きましょう)					
あいさつや返事はできましたか？			自分から準備はできましたか？		
まちがえずに正確にできましたか？			仕事が終わったら報告はできましたか？		
わからないことや困った時は正確に聞けましたか？			誰とでもお話しはできましたか？		
あとかたづけやそうじはできましたか？					
実習先での「様子」や「感想 (思ったこと)」を書きましょう。					
帰宅後の様子・連絡 (保護者記入欄)					
現場での様子・連絡等 (指導者記入欄)				指導者名 _____	

実態に応じて使い分けます

高等部で現場実習に行く時には
実習ノートを使います。
持ち物、時間などの確認をするため、
そしてがんばったことを自分で評価し、
実習先でも様子を記入してもらう
ためです。

自己評価のポイント

- ① あいさつや返事はできたか
- ② 時間やきまりを守れたか
- ③ できたことの報告ができたか
- ④ 正確にしごとができたか
- ⑤ 準備、後片付け、掃除はできたか
- ⑥ わからないとき、困ったときは、伝えられたか
- ⑦ 実習先で誰とでも話ができたか

書籍紹介

よい子どもを理解するために

「高機能自閉症・アスペルガー症候群及びその周辺の子どもたち」

尾崎洋一郎 草野和子 同成社

「学習障害(LD)及びその周辺の子どもたち」

尾崎洋一郎 草野和子 中村敦 池田英俊 同成社

「発達障害とその周辺の子ども達」

尾崎洋一郎 同成社

「ADHD及びその周辺の子どもたち」

尾崎洋一郎 池田英俊 錦戸恵子 草野和子 同成社

「特別な教育的ニーズ」のある子ども達の特性を理解し、一人一人の実態にあった具体的な取り組みの工夫を紹介してくれているシリーズです。この児童は、なぜこのような行動をとるのか、どうして他の友達と上手くやっっていけないのか、クラスの中で浮いてしまうのか等々、そこにはその子ども達一人一人の個性、特性があって、周りの関わり方次第で問題は解決していけるということをわかりやすく紹介してくれています。

人や社会への関わり方を向上させるために

「今子ども達に育てたいソーシャルスキルCSS小学校低学年」

川村茂雄 品田笑子 藤村一夫編著 図書文化社

「今子ども達に育てたいソーシャルスキルCSS小学校高学年」

川村茂雄 品田笑子 藤村一夫 編著 図書文化社

現代の子ども達の対人関係の体験学習不足をどうするのかを学校教育は数少ない体験学習の場であるという視点から、今子ども達に育てたい学級ソーシャルスキル、学校生活のスキル、集団活動のスキル、友達関係のスキルというそれぞれのジャンルからていねいに解説してくれています。すぐに役立つ取り組み満載です。

具体的に役立つ支援や教材・教具

「教室でできる特別支援教育のアイデア172小学校編」

月森久江編 図書文化社

様々な課題を持った子どもに対して、学習に関する支援、ライフスキルの支援、問題行動への対応等、と具体的な取り組みがわかりやすく紹介されています。絵や図が多く、実際にすぐに実践していける中身がたっぷり、今日からでも明日からでも授業に取り入れることができる内容が盛りだくさんの、たいへんお勧めの1冊です。

「楽しみながら学べる手作り教材・教具40」

朝井翔二・松永栄一・内藤壽著 明治図書

抽象的思考が苦手、言葉の理解が難しいとされている子ども達に、言葉以前の感覚に訴え、思考を深めるための具体物、つまり【伝えたことや理解して欲しいこと】と【子どもたち】をつなぐ教材がとてもわかりやすく視覚的に提示されています。

「アートびっく箱～障がいのある子どもの絵画指導～」

個性を引き出す12の視点ということで、思いもよらない工夫が提示されています。ただ子どもの個性を大切に、といっても、なかなか子どもの個性を引き出せるものではありません。具体的にこうすれば子どもがやる気を出す、その子どもの特性を引き出すことができる様々なヒントを得ることができます。

「表現活動を豊かにする絵画・制作・造形あそび指導百科」

東山明編著 ひかりのくに

子どもの能力と可能性を引き出し育てるための教材研究と、新しい教材開発の手がかりになる本です。ここには子どもがひとみを輝かせて取り組める新しい教材や題材の紹介、造形の基礎基本や表現技法を押さえた教材事例、子どもの発達を押さえた保育の組み立てや手だてやアドバイスの仕方など、実践をふまえた事例を多面的に満載しています。